令和 7 年度　技能検定
2 級　眼鏡作製　学科試験問題

1. 試験時間　　90 分
2. 問題数　　50 題（A 群 25 題、B 群 25 題）
3. 注意事項
   （1） 試験官の合図があるまで、この表紙はあけないでください。
   （2） 解答用紙に受検番号、氏名、ふりがなを記入してください。
   （3） 問題は A 群 25 題（多肢択一法）と B 群 25 題（真偽法）とに分かれています。
   （4） 試験開始の合図で始めてください。
   （5） 解答の方法（多肢択一法と真偽法）は次の通りです。
      イ. A 群の多肢択一法では、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ロ. B 群の真偽法では、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ハ. 解答用紙（マークシート用紙）へ解答する際は、解答用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 解答用紙の解答欄は、A 群と B 群では異なります。所定の解答欄に試験問題の台数に応じて解答してください。
   （5） 電卓の使用は許可しますが、スマートフォンや携帯電話などの計算機機能の使用は認めません。
   （6） 携帯電話などの通信機器類は使用禁止です。必ず電源を切りカバンなどにしまってください。
   （7） 試験開始後、問題に取りかかる前に、問題全体を確認してください。落丁や乱丁があった場合は、挙手して、試験官に申し出てください。
   （8） 試験開始後の質問には、一切お答えできません。
   （9） 試験中、体調がすぐれない場合は、静かに挙手し、試験官の指示に従ってください。
   （10） 試験開始後 45 分を過ぎましたら退室可とします。
   （11） 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従ってください。
   （12） 座席のシールは合否発表の際に必要となりますので、試験終了後、問題用紙と一緒にお持ち帰りください。

受験者席シール

4. 合否発表
   2025 年 6 月 10 日（火）眼鏡作製技能検定の公式サイト

【A 群（多肢択一法）】

1．最強度近視は何 D を超えるものか。
A．S－6.00D
B．S－8.00D
C．S－10.00D
D．S－12.00D

2．角膜は何層構造か。
A．5 層
B．6 層
C．8 層
D．10 層

3. S－5.00D の補正が必要な近視眼に、S－3.00D を装用した。ピント合わせ力（調節力）が 2.00D とすると、明視域で正しいのはどれか。
A．眼前 40cm～眼前 20cm
B．眼前 50cm～眼前 25cm
C．眼前 67cm～眼前 33cm
D．眼前 100cm～眼前 33cm

4．米国で処方された処方せんの視力欄に 20／40 と記載されていた。小数視力に換算すると、正しいのはどれか。
A．0.2
B．0.4
C．0.5
D．0.8

5．雲霧法で乱視測定を行う場合、乱視測定前の屈折状態で正しいのはどれか。
A．混合性乱視
B．近視性複性乱視
C．遠視性単性乱視
D．遠視性複性乱視

6. ＋3.00D の球面レンズの前方 50 cm に物体がある。レンズによってできる像の位置はどれか。
A. 前方 100 cm
B. 前方 20 cm
C. 後方 20 cm
D. 後方 100 cm

7. 遠点について、誤っているのはどれか。
A. 正視の遠点は無限遠方にある。
B. 乱視の遠点は線状に伸びている。
C. 近視の遠点は眼前有限の距離にある。
D. 遠視の遠点は眼後有限の距離にある。

8. S－2.00D C－1.00D Ax180° で補正できる眼に対し、間違えて S－1.00D C－2.00D Ax180° の眼鏡を装用させてしまった。補正のための残余度数はどれか。
A. C－1.00D Ax90°
B. C－1.00D Ax180°
C. S＋1.00D C－1.00D Ax90°
D. S＋1.00D C－1.00D Ax180°

9. 眼鏡フレームの各部の説明で誤っているのはどれか。
A. 智は、鎧（よろい）とも呼ばれる。
B. パッド足は、クリングスとも呼ばれる。
C. 合口は、テンプルチップのテンプル差込口である。
D. 丁番は、フロントとテンプルを繋ぐ開閉機能を持つ部分である。

10. ボクシング・システムで表記されていない寸法はどれか。
A. 玉形幅
B. 玉形高さ
C. レンズ間距離
D. テンプル長さ

11. 眼鏡レンズの収差で誤っているのはどれか。
A. コマ収差の影響は考慮していない。
B. 像面湾曲の影響は考慮していない。
C. 非球面レンズは球面収差を減らすことが目的ではない。
D. マイナスレンズでは糸巻き型のディストーションが現れる。

12. 光の性質で正しいのはどれか。
A. 屈折は屈折率が異なるところで光が折れ曲がる。
B. 反射は光が屈折しない場合に起きる。
C. 干渉は波動が２方向に分かれる。
D. 回折はもとの方向へ光が戻る。

13. 接客の話法において、お客様との対話で適切なのはどれか。
A.「了解しました」と返答する。
B.「なるほど」と相づちを打つ。
C.「参考になります」と返答する。
D.「おっしゃる通りです」と賛同する。

14. 2025 年の国内トレンドカラーは「ホライゾングリーン」となった。トレンドカラーの検討は実シーズンのどのくらい前から始まるか。
A. 半年前
B. 1 年前
C. 2 年前
D. 3 年前

15. 次の近用眼鏡処方でレンズ加工時にいずれの主経線方向もプラスとなるのはどれか。
A. S－2.00D　　ADD＋2.00D
B. S－0.50D C－1.00D Ax90°　ADD＋2.00D
C. S－2.00D C－2.00D Ax90°　ADD＋2.00D
D. S－3.50D C－1.00D Ax90°　ADD＋2.00D

16. 近用眼鏡における装用時前傾角として基本となる角度はどれか。
A. 5°
B. 10°
C. 15°
D. 20°

17. レンズカーブと度数の関係で誤っているのはどれか。
A. レンズカーブは面屈折力の値で示される。
B. レンズカーブは曲率半径から計算される。
C. 屈折率が高いレンズの面屈折力はカーブ計の値より大きい。
D. カーブ計の値はフリントガラスの屈折率が基準になっている。

18. 加工時に回転ずれを最も起こしやすいレンズはどれか。
A. 強度乱視レンズ
B. 強度プラスレンズ
C. 強度マイナスレンズ
D. プリズム付きレンズ

19. 眼鏡用工具の使用方法で正しいのはどれか。
A. ドライバーの柄は細いと力が入りやすい。
B. ヤスリは押す時の方が削れる度合いが大きい。
C. ヤットコは横から強く力を入れて握る方が扱いやすくなる。
D. タップの使用時に少しでも引っ掛かる時は力を入れて回転させる。

20. 成人の解剖学的特性で正しいのはどれか。
A. 頭部形状は左右非対称の場合もある。
B. 眉と目の間隔は左右で一致している。
C. 耳の位置は目の位置よりも上側にある。
D. 耳介付け根は硬いので圧迫しても痛みは感じない。

21. フィッティングで使用するドライバーの説明で誤っているのはどれか。
A. ねじを回すときの持ち方は時計技師と似ている。
B. ねじを回すときは、ドライバーでねじを押しながら回す。
C. ねじを回すときは、手で包むようにしてドライバーを持つ。
D. ねじを固く締めたいときは、対象物を作業台にあてがうなど固定して行う。

22. 左右とも S－5.00D の度数で右眼が左眼よりも 2mm 高い頭部形状に対し、右眼のビジュアルポイントに合わせて左右同じ高さで眼鏡作製したときのプリズム作用はどれか。
A. 1.0 Δ 左眼 B.D
B. 2.5 Δ 左眼 B.D
C. 1.0 Δ 左眼 B.U
D. 2.5 Δ 左眼 B.U

23. プレフィッティングの合理的な調整箇所の順番で正しいのはどれか。
A. パッド ⇒ テンプルチップ ⇒ 左右テンプルの開き角 ⇒ 左右テンプルの傾斜角
B. テンプルチップ ⇒ パッド ⇒ 左右テンプルの傾斜角 ⇒ 左右テンプルの開き角
C. 左右テンプルの開き角 ⇒ 左右テンプルの傾斜角 ⇒ パッド ⇒ テンプルチップ
D. 左右テンプルの開き角 ⇒ 左右テンプルの傾斜角 ⇒ テンプルチップ ⇒ パッド

24. 薬機法に基いた医療機器の分類で最もリスクが高い「高度管理医療機器」に該当するものはどれか。

A. 血圧計

B. MRI 装置

C. X 線診断検査装置

D. 人工心臓ペースメーカー

25. 眼鏡処方せんを持参せずに眼鏡作製に来店したお客様への対応で誤っているのはどれか。

A. 70 歳を過ぎてから視力が低下したという訴えの来店であったため、眼科医療機関の受診を促した。

B. 最近、急に視力低下を自覚しての来店であったため、眼鏡作製せずに眼科医療機関の受診を促した。

C. 最近、急に物が二つに見えるための来店であったため、眼鏡作製せずに早急に眼科医療機関の受診を促した。

D. 小学生が学校での眼科健診の結果表を持参しての来店であったため、眼科医療機関受診は勧めずに眼鏡を作製した。

【B 群（真偽法）】

26. 屈折補正度数が S＋0.50D C－0.50D Ax90° の眼は混合性乱視である。

27. 屈折補正度数が S－1.00D C－1.00D Ax90° の眼の強主経線方向は 180° である。

28. 50 歳で正視の人の平均的な調節近点は、およそ 20cm である。

29. クロスシリンダーによる乱視測定では反転前後の最小錯乱円の位置の変化を調べている。

30. 眼鏡使用者が新しいメガネ（遠用）を希望する場合、現用眼鏡での遠用視力の測定は不要である。

31. アッベ数の大きい素材ほど色分散が小さい。

32. プルキンエ・サンソン像のうち最も明るく見えるのは第 I 像である。

33. プリズムの後方 500cm で光線が 25cm 偏位するプリズムの強さは 20Δ である。

34. べっ甲の原料であるタイマイは、ウミガメの一種である。

35. イオンプレーティングは非常に強度があり、汚れにも強い。

36. 累進屈折力レンズの遠見の処方度数値が測定される場所を測定基準点と呼ぶ。

37. 多焦点レンズに対するスラブ・オフ加工は、レンズの厚みを薄くするために行う。

38. 望遠鏡式レンズメータの視度調整は遠視眼の場合は不要である。

39. ノンバーバル（非言語）コミュニケーションは、音声情報よりも視覚情報が大きな割合を占めている。

40. お客様の視環境さえ尋ねれば、レンズ種類の決定は眼鏡作製技能士に任せればよい。

41. 眼鏡処方せんの略記号で「O.D.」は右眼を意味する。

42. レンズメータに用いる頂点屈折力などを測定する基準波長は約 546nm である。

43. レンズのベースカーブとはプラスレンズはレンズ前面、マイナスレンズではレンズ後面のカーブを指す。

44. 加工機のヤゲンカーブ設定は作製レンズ前面カーブに合わせることが最良である。

45. プリズム付き非球面レンズの注文では偏心加工で間に合うので特注する必要は無い。

46. 基本調整はプレフィッティングとも言われ、入荷した商品フレームを陳列する前に行う調整である。

47. 頂点間距離が変わると非点収差が発生する。

48. 鼻に当たるパッドの面積を大きくすると鼻への圧力が減る。

49. 美観的なバランスが良い眼鏡の装用位置・高さは、玉形高さの中央より 2mm 下方に瞳孔中心を合わせる。

50. 新たに視覚障害者手帳を取得した人を調査した報告（2019 年）によると、視覚障害の原因疾患の第 1 位は緑内障である。